



開く

開く





【発行】
三丘市民センター
安田562-2
TEL・92-0177

三丘徳修館だより

&"ほっと三丘"コミュニティだより

第46号
配布
令和2年10月1日発行



8月18日(火) 「みつおのまちって危ないの？」

大人も子ども一緒に
防災についておしゃべり！ 砂場で土砂災害を再現してみた！

8月21日(金) 「みつおまち歩き 防災編」

三丘地域の避難所を
みんなで見学！ 職員さんから
話を聞いたよ！

8月25日(火) 「三丘の避難所図鑑」

地域の人たちが避難・被災体験
を話してくれた！ 三丘の避難所図鑑を
みんなで作ったよ！



地域と学校が一体となって、防災・減災教育に取り組む！！

地域の未来を担うリーダー育成塾「三丘子どもまちづくり塾」が、今年度は“防災・減災”をテーマに、三丘小学校の総合学習授業として、児童5～6年生を対象に、8月中に3回実施されました！ 1回目(8/18)は公立鳥取環境大学 柚洞 一央先生ご指導のもと、地理的な観点より三丘の災害リスクについて学び、2回目(8/21)は、熊毛地域の防災マップを片手に地域の避難所へ見学、それぞれの状況について話を聞きました。3回目(8/25)は、被災された方の体験談を聞いた後、各避難所の情報をまとめた「避難所図鑑」を作成しました！ 今後は、避難所への提言書作成、児童による防災プラン考案・発表、等の授業を予定されており、とても充実した内容となっております。また、熊毛北高校のコミュニティスクール活動として高校生たちも参加してくれており、同塾を通して、地域と学校間の連携強化が図られ、防災・減災教育に取り組まれることを期待しております！

===三丘子どもまちづくり塾とは？===

地域内の児童数減少が地域の課題となっており、地域全体で子どもの数を減らさない活動に取り組んでいる「みつおずっと子どもがいるまちプロジェクト」の一環として通年にわたって実施している、児童の地域への関心を喚起し、また将来まちづくりに取り組むリーダーを育てることを目的としたリーダーシップ研修。



開く



開く





三丘徳修館まつりの中止について



毎年秋、恒例行事である「三丘徳修館まつり」の今年度の開催について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、協議の結果、中止を決定いたしました。（令和２年９月９日コミュニティ役員会にて）イベント自粛でさびしい限りですが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様におかれましても、お体に留意され、次年度には再会できることを祈念いたします。

第 27 回三丘徳修館まつりの中止について



来年のご来場をお待ちしております。

三丘の夜空に、祈りの花火 「STAY HOME 花火 2020」

８月に各地区で実施された周南市コミュニティ推進協議会主催の「STAY HOME 花火 2020」を三丘地区でも実施しました。

２～３分の短い時間でしたが、皆様、いかがだったでしょうか？ ご観賞頂いた方々からは、「とても良かった」「またやってほしい」という言葉をたくさん頂きました！ 自粛続きの昨今ですが、今後も三丘地区の活力になれるよう、必要な安全対策を講じた上で、積極的に活動していきたいと思っております。

ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



☆ 徳修館顕彰保存会からの連絡事項 ☆

本年度計画していました保存会事業についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、下記事業を中止いたします。

楽しみにしておられた方も多いと思いますが、何卒ご理解をお願いいたします。

- ・令和２年 10 月 4 日（日） 徳修館萩菜
- ・令和２年 10 月 4 日（日） ふるさと歴史講演会
- ・令和２年 10 月 31 日（土） 歴史探訪バスツアー



徳修館萩菜



ふるさと歴史講演会



三丘市民センターふくふく学級 活動報告

7/27 （特別編）

～31 「突撃！主事の家庭訪問」



～経緯～

コロナの影響により、令和２年度ふくふく学級についても、開催延期が続いている現状です。

しかしながら約 70 年間、生涯学習の場として紡がれている歴史のある学級が無くなってしまおうのではな
いかという不安もあり、少しでも何かできないかという思いと、学級生と顔を合わせる機会もめっぽう減り、
皆さんの体調等も心配であった。

こうしたことから、学級開催に向けて、特別編として、“集まるのが難しいのなら、逆に外向いていこう”と
いう逆転の発想で、主事が学級生の方々の自宅へ訪問して、活発な意見交換や元気な姿を拝見する、と
いう「家庭訪問」という新たな手法をとることとした。

＜家庭訪問の感想＞

コロナ禍ではありますが、学級生 40 名の内、12 名の方が家庭訪問を受け入れてくださり、感謝の気持ちしかありません。

同時に皆さんのコロナに対する考え方もしっかりと認識でき、今の時期に学級等のイベントを開催することの難しさを、ひしひしと感じました。

自粛により、体調を崩された方（鬱っぽい、足が悪い等）が半数ほどで、サークル活動等に積極的に参加されていた方ほど、自粛により生活リズムが崩れてしまい、体調不良を起こしやすい傾向があり、サークル活動や人との関わりの重要性を改めて感じました。

学級の今後について、頂いた継続 or 自粛の意見がおおよそ半々に分かれるという結果でした。（訪問した皆様より）

この家庭訪問により、皆さんの様子や思いをきちんと知ることができ、「楽しかった」「主事さんを身近に感じることができた」「学級再開を楽しみにしたい」等、とてもありがたい意見をたくさん頂き、初めての試みであったが、取り組んでよかった、機会があればぜひまたやってみたいと感じました。

学級の今後については、家庭訪問で頂いた意見や周囲の状況等を考慮して、慎重に判断しつつも、前向きな気持ちを持ってできる限りの活動を実施していきたいと思っております。

家庭訪問を受け入れてくださった皆様、誠にありがとうございました！

三丘市民センター 中村 友也

